



韓国日記



行って参りました。韓国へ。友人から「来るよ」との連絡を受けて。

“2月頃に来る”という事は昨年暮れ頃から聞いてはいたけれど、スケジュールの決まるのが急な事急な事、一度決まっても変わる変わる…⁰⁰ それは旅立つ前から帰るまでの間ずっとで、香港スターのスケジュールに変更が多いという事は知っていましたが、ここまでとは…。「よくここまで対応出来る物だなぁ、韓国企業陣も…」と圧倒されました。（恐らく日本ではここまで出来ないのではなかろうか？又、香港側も日本ではそんなに無理は利かないだろうという事は解ってるだろうからここまでの変更は日本ではしないのでは？）。出発前には記者会見の時間、日にちに3回くらい変更があったし（来韓日、間近というのに）向こうに行ってから、どこかの舞台挨拶がキャンセルされるわで、韓国側も毎日がとても大変そう…。なにはともあれ、この私、友人達（D・Cスタッフ達）と行動を共にさせて頂きました。（とは言っても、総べてを共にしていた訳では有りませんY0）スタッフの皆は、リンチェイが来ている間は眠る間も無いほどに走り回っているし、他にも会員さん達はいらんですし、他会員さん達と同じように、参加出来る範囲で参加致しました。でも、言葉が不自由な事やら、いろいろ気遣わせてしまう要素たっぷりな私で、超忙しい所なのにそれはもう、いろいろと世話見て頂く事と結果なっていますが…。

2名まで(記者会見参加は)OKという事で、少し韓国語の判る吉田さんも行ったのですが、日程の都合で、予定していた記者会見と前日空港までの出迎いのみで帰国改しました。「リンチェイはどんなだった？」という声がそろそろ聞こえてきそうなのですが、それを私に聞かないで下さい。

(泣)。自慢じゃないけど日はあまり良くないんです。だから遠くのリンチェイは2重3重いやいや重か!?ボヤけてしまつてよく判らない……その上('95 東京ファンタ談を知ってる人は、あゝあまたか。と御存じでしょうが)近くにいますリンチェイは、日が固まってしまうのか?顔が見えなくなってしまうんですよお〜お (オイオイ……それじゃあレポートにならんて。)

(※東京ファンタ談とは一ファンタで握手をしてもらった時の事、たぶん日が固まつて動けなくなっていたのだらうと思うのだけど、近づくリンチェイ。だんだんとアップになって行くのは良いんだけど、たどりついた場所が右目のまつげ。そう…まつげのアップしか見えてなかったんですヨ…悲しい)という事で、吉田さんが記者会見当日に言っていた言葉を借りちゃいますと、「正面から見ると可愛くて、横から見ると以外とふけてる。」だそうです。(ふむふむ。)

さて、リンチェイ到着の日。(なんだか話しが飛びまくっているような気がしないでもない…読みにくかったら御免なさいNc) 我々は朝早くから待ち合わせ、皆でリムジンバスに乗り込み(せっかくのお出迎えの日なのに少々頭痛ぎみの私…) キンボ空港まで。待ちに待ったリンチェイ登場の瞬間のその時には、「ホエンインホエンイン(歓迎歓迎)リー・リンチェイ」と皆で声を一つにして掛声するF・C会員達。リンチェイの周りには、リンチェイ側の関係者や韓国TV局の人などで囲まれていたので、リンチェイの目の辺りをかろうじて見る事が出来たという感じだったのだけど、実に感動! 日本の空港でもこうして皆で出迎いたいものだとしみじみしてしまいます。(聞く所によると、成田空港は垂れ幕がダメとかで!?なかなか難しい事なのかも…) そのあとリンチェイは車に乗り込んでしまいました。車はしばらくの間止まっていたが残念ながら中の様子は全く伺えませんでした。そんな時、後方から「誰?誰が来てるの?」「どんな有名な?」という声が聞こえ、更には「誰か日本語話せる人はいないの?」と女性3人がのたうちまわっていたので(ように見えたので)、「香港スターの(←この言い方はあまり好ましく思っていないのだが、てっとりばやいと思って)のリー・リンチェイ が来てるんですよお。」と振り向き一言。だがしかし、返ってきた言葉というのは…「知らない」 **ダクッ** 何か崩れ落ちる音が聞こえてきそうでしたよ…。 香港映画ファンの人なら、今やリー・リンチェイの名は知らない人もないだろうと思う程に、人気も上昇中ですが、やはり香港映画に縁遠い人にとっては、知っててジャッキー・チェンなんですよ〜(こういう所をなんとかしたいのですが)。判っていてもショックでした。この日はこれだけ(出迎え)だったので、吉田さんはそのあと観光へ。私はちょっと疲れていたもので、HOTELへ直行バタンキュー。(リンチェイは撮影やらなんやらと、このあとも大忙しでした)

翌日記者会見の日(右の写真)。2人で参加したというのに2人とも録音に失敗して何をやっているのやら…。正確に言えば、吉田さんはレコーダーを持ってきておらずで前日のあの大きな荷物はどこ?状態、私はマイクのスイッチを入れ忘れ音声何も入ってない状態…本番に弱い2人であった…(苦笑)。さて、後日送られてきたテープから一部を御紹介!! 白珠妃さんに訳の御協力を頂きました。(マイクがこもって聞き取りにくい為、質問の部分で分からない所がありますが、御了承下さい。)

★黄飛鴻西域雄獅 リー・リンチェイ記者会見内容★

(李) この場にお集り頂いた、たくさんの方々に心から感謝致します。

(Q) 映画デビューの前に、武術の達人として世に出られましたが、御自分の中ではどちらを重視していますか?

(李) もちろん武術です。武術を習わずにいたら映画を撮る事も無かったですよ。それに、皆さんも、映画の中で武術シーンが出てくる事を楽しみにしているでしょう？ 私の中ではあくまでも武術が主です。

(Q) 韓国の女優の中で興味の有る人は？

(李) 残念ながらこの所、韓国の映画を見ていないので…。

(Q) 米国と香港の制作・撮影での相違点は？

(李) ロケの3分の2は米国でした。香港のスタッフは昼夜かまわず仕事をしますが、米国のスタッフは1日10時間までしかやりません。そのへんの調整が大変でした。でも、香港・米国の合作としては歴史に残る作品になると思います。あと、今回の映画は自分の声でアフレコしてあるので、スクリーンで私の声が初めて聞けますよ。

(Q) 中印返還について？

(李) 映画について語るならば、今まで一定のレベルを保ちつつも、少しずつ質の良い物が撮れていると思うし、内容も健全です。これからもそれは変わらないと思うので、私にとっては、そう大きな問題は無いです。

(Q) ……？…。

(李) “黄飛鴻”シリーズが進むごとに内容やシチュエーションが定番になってきていたので、思いついた企画にした。作られてしまった飛鴻像をくつがえすには良い機会だったと思う。

(Q) ジャッキー・チェンとの違いや、意識している事は？

(李) 私は武術が主ですが、成龍は京劇出身ということもあるので、面白さが加わっている。

(Q) ハリウッドの方々との交流は？

(李) 去年、米国で映画が公開されたので、TVの取材・雑誌の取材もありました。俳優・監督の方々とは連絡を取り合ったりもした。ある人はテキサスまで来てくれた。今後に向けて、制作サイドの人達と話し合い中です。

(Q) 結婚は？

(李) 必ずしなくてはいけないものでもないと思うので、今は考えていません。必要になれば、いずれするかもしれませんけど…。

(Q) ロザムンド・クワンとの共演が多いですね。

(李) 飛鴻=ロザムンドのコンビが定着していますので。

(Q) ……？…。

(李) 映画はストーリーがかんじんだと思います。今現在、武術を教えたりはしていません。

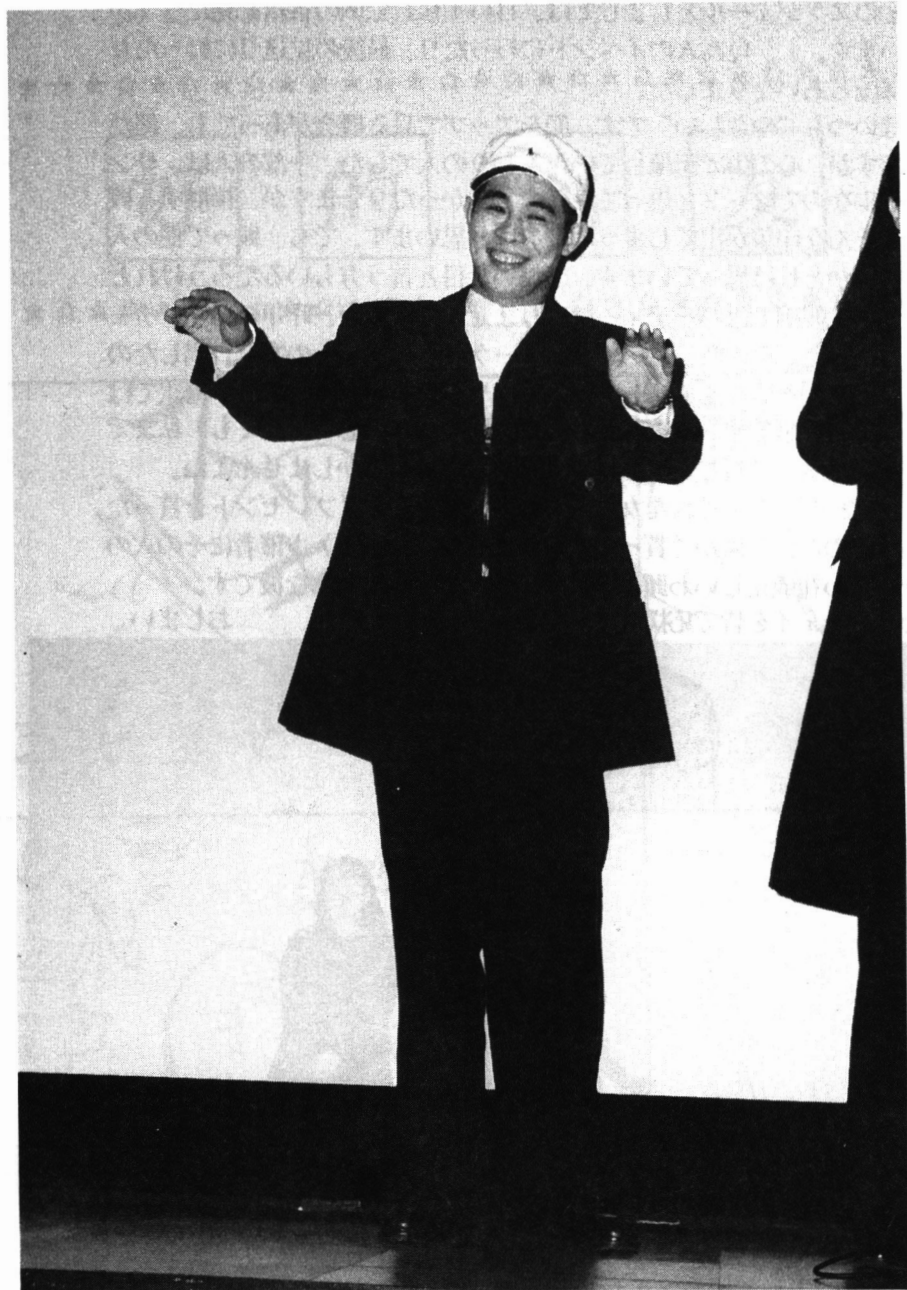
(2月22日現在)

と、こんな具合に会見は行なわれました。無事、記者会見も終わり、吉田さんもここでタイムリミットで帰国。

記者会見のあとには、TVの公開録画があるという事で、2台の車をつかまえTV局へと走りまわった。着いた先(局)で、場所が分からず、おまけにもう1台に乗ったスタッフ達とも会えず、ちょっとドキドキでしたが、公開録画が始まる前にはちゃんとたどりつけて、ホッと一息。いつの間にかやれ会員の皆もそこに揃っていました。

前番組の録画終了後、一部のお客さんと入れ代り、席に着く（F・Cの皆が固まって座れるように2〜3筋空けてもらう）番組『スーパーサンデー』が始まり、いよいよ「スターマンナヨ（“スターに会う”って感じのタイトル）」コーナー!! さすが来韓連続5年（いや、今回で6回目だったか?）。リンチェイもF・Cの存在をよ〜〜〜く知っている。垂れ幕が目印になってるのでしょうね、こちらを見たり手を振る事が多かった。あ、余談ですが、うちも垂れ幕作ろうと思ひまして只今（どこに頼もうかと）見当中です。今年の東京ファンタ祭は11月にあるようですが、もしも来日した時には、持って行きたいな〜と思ったりしてゐるんです。（ちなみに…今現在は、来るかどうかは全く分かっておりません。昨年キャンセルがあっただけに、リンチェイがゲストの候補として考えてもらえるのかどうか…。今年はちょっと厳しいのではないかと、不安があつたりもしますが）。韓国F・Cがそうだから…という訳ではないのですが、ちょっとした掛声も必要なの

では?とも思ひ（だってリンチェイが反応するから…。しかも嬉しげに）先日大阪集会ではビデオ上映だけでなく、ちょっと発声練習なんぞやってみました、心なしか皆さん顔がひきつっておられたように思います。（苦笑）。これ（掛声）はやめといった方が良いのかなあ〜?!とも思ひました。でも…。ウーム。おおっと話しを戻しましょう☆☆☆!!公開のこの番組では、間、間に西域雄獅のテープを見たり、過去にこの番組に出た時の面白い（リンチェイ）シーンのテープを見たりしながら進んでいた訳だけど、一応バラエティ番組なので可笑しい場面も有り。司会者がリンチェイに“（映画の中では）キスシーンをする事がありますが…韓国ではどうですか?”という感じで（韓国語はほとんど判らないけどそんな感じ）、女性アナにタッチ交代。



ムードのあるバックミュージックが流れ、ラブシーンの始まり始まり…。

〔女性アナ〕「◎◆○□■ムニャムヤ…（←デタラメに喋ってる）◆◎・ウォ〜アイ〜ニ〜（私はあなたを愛しています・中国語）」

〔李〕「あなたが私を愛してくれて、とても嬉しいです。でも私は、みんな（客席を示しながら）を愛していますから…（←勿論、中国語）」

と、おことわり（爆笑）。そんな1シーンが有りました。実に面白い番組です。

さてさて、更に翌日には“西域雄獅”の上映が有りまして、リンチェイの舞台挨拶も見ることが出来ました（前頁の写真）。数箇所舞台挨拶に走り回るリー・リンチェイ。（超多忙です。）

映画は映画で声が本人の物（北京語版）なので、かねてから映画を生声でやって欲しいと思っていたものですから、もう嬉しいやら、悲しいやら（←？）、上映中ずっと気が狂っていた私です。

（香港では広東語で上映のようで本人の声ではないみたい。）日本は？日本は？生声であって欲しいと願う今日この頃です。あとのスケジュールとしましては、HOTTELで例の番組を見たり（かなり編集されていたように思います。）、Q&Aのイベントに行ったり、最後の見送りに行ったりで、約1週間の旅を終え私も帰国とあいになりました。

私から見たリー・リンチェイはいつも“やさしい”です。顔をアップで見る機会があっても、顔が見えないのがタマニキズなのですが、心の中で想像していたとおりの人でした。一部の人は、リンチェイってファンに対してクールなのでは…？と思っている人も多かったです。接触する機会が、あまりに少なすぎるからそんな印象が出てしまうのだらうと思います。でも、彼って他の人よりも純粋でやさしいのではないかと私は思っています。（ひいき目と言う方もいるだらうけれど、けしてそうでは無くて）。今年は韓国ではパーティーは有りませんでした。昨年にはリンチェイを囲んでのパーティーが有りました。その時、会場の皆でターゲット・ブルーの歌を合唱したのですが、感動のあまり泣いてしまったそうなんです。（注：別にワーワー声を出して泣いた訳ではないですYO！涙が出てしまったって事です。）それを、聞いた時には（今思い出しても）私まで胸がしめつけられてしまいます。ファンに対してクールな人が泣いたりなんかしませんよね。

イギリスのイベントの時でも、プレゼントをくれた女性にお礼が言いたくて（プレゼントを貰ったその時に、言いそびれてしまったのか、とにかく貰った時に言わなかったの）主催者にその人の事を尋ねたようです。やさしいわ礼儀正しいわ頭良いわで、言う事なしのそんな彼です。

これからも、こんな愛しげなリンチェイを皆で応援していきましょうね。ね!? おしまい。

→ 実物大写真
（表紙や別頁に掲載の写真は、拡大しています。）

